

訪問教育の取り組み ~みんなの笑顔☆輝け~

訪問教育の教育目標 (Well-being)

- 安心できる学習環境で、「感じて・伝え・選択したりかかわり合えたりする学び」を実現し、人とのやり取りを広げ、主体的なかかわりを育めるように努める。
- 保護者や施設、関係機関と連携を図り、児童生徒の実態や学習環境を的確に把握し、感染症対策や安全対策に留意しながら支援・指導に努める。
- 周囲の人や物に気付き、自らかかわる力を育むため、学習内容や活動場所を精選し、ICTや各種教材・教具を工夫し、より一層の学習の充実を図る。
- 地域や通学生等との交流や施設との連携を推し進める。

自ら気付く力の育成

○さまざまな学習や体験を通して、「自分から気付く力」を育てます。



自立活動

ゆめ水族園
(エプソン作
製の動画を
見ました。)

せいさく(タック版画)



おんがく(手作り楽器を鳴らそう)



うんどう(ポッチャ)



行事や季節、特設単元では、グループで学習をします。

「おんがく」「せいさく」「うんどう」などを題材にして、個別課題に応じた学習を行います。

学校行事



さかとかく
フェスティバル
(さかとかくソーラン)

令和8年度1学期始業式(校長先生と一緒に)



入学式や卒業式、さかとかくフェスティバルなどの学校行事に参加します。

人とかかわる力の育成

○さまざまな人とのかかわりを通して、社会性を育みます。

地域交流(対面交流)



ボランティア団体の皆様と交流をします。

授業の活動の様子から



インドネシア国籍の青嵐荘療育園職員の方と交流をしました。